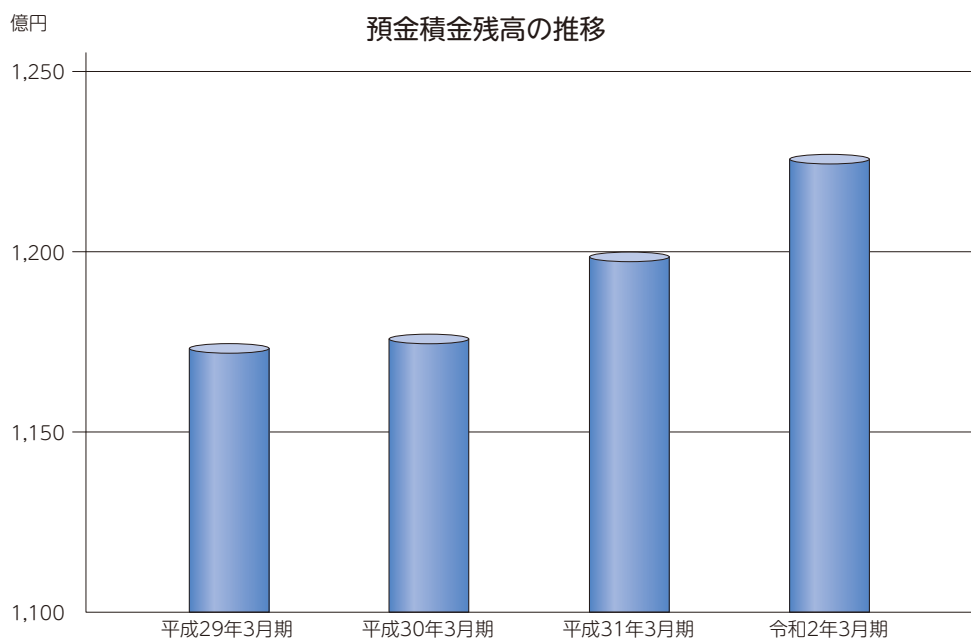


令和元年度の事業概況

令和元年度は第2次経営強化計画の最終年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性改善に向け、役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、貸出金は引き続き大幅な増加となるとともに、預金積金についても3期連続の増加となりました。この結果、市場金利の低迷等により余資運用収益の減少等はありませんでしたが、資金利益は11百万円増加することができました。加えて、引き続き経費の削減に努めたこと等により、「コア業務純益」は195百万円を確保することができました。また、当期純利益は貸倒引当金の戻入益の減少や一部所有不動産の減損処理を実施したことにより、前期比123百万円減少の263百万円となりました。これからお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

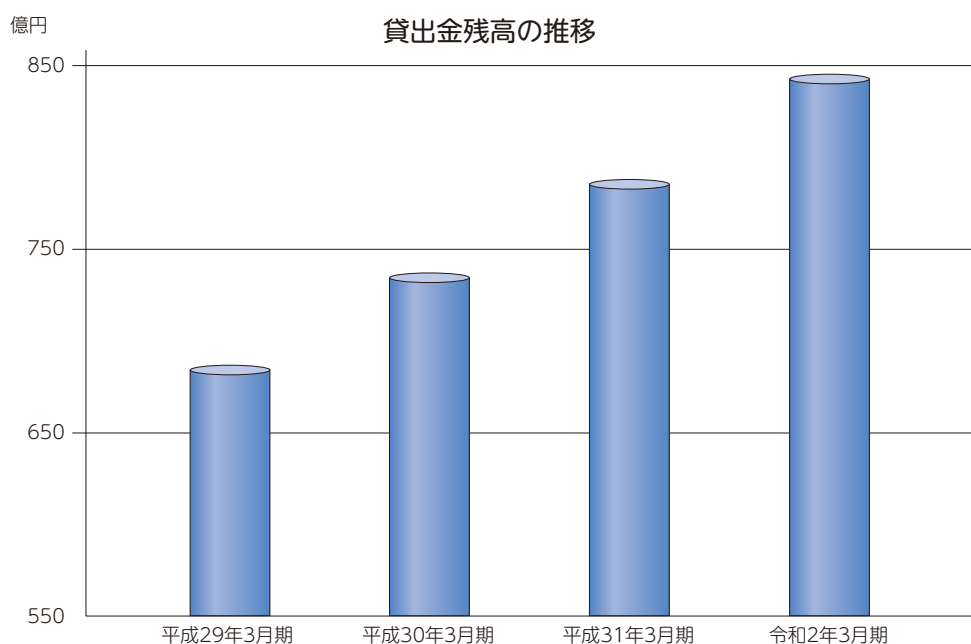
(1) 預金

令和元年度の期末預金残高は、1,226億円と前期末比26億円の増加となりました。



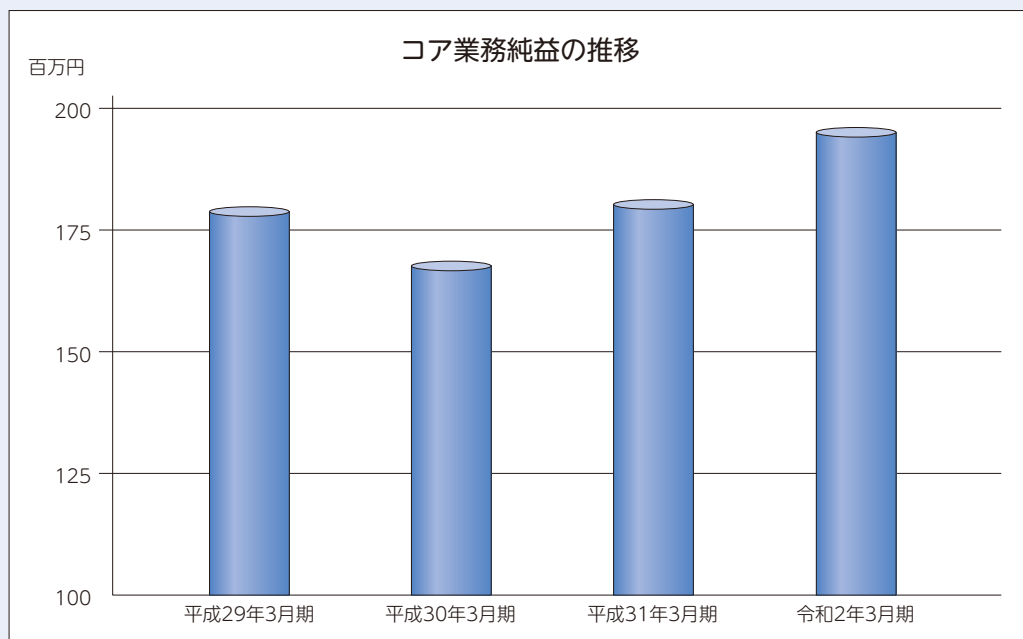
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比58億円増加の844億円となりました。



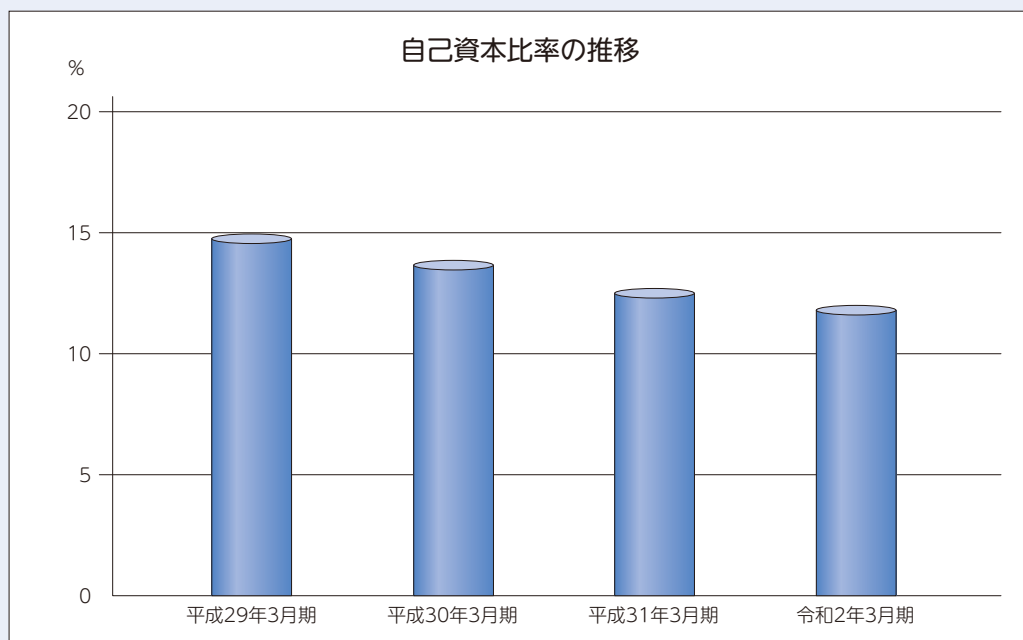
(3)コア業務純益

市場金利の低迷が続きますが、貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は195百万円を確保することができました。



(4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和2年3月期の自己資本比率は11.88%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期
預金積金残高	117,363	117,635	119,952	122,622
出資金残高	8,095	8,082	8,083	8,084
貸出金残高	68,610	73,508	78,591	84,403
有価証券残高	24,860	25,214	29,505	27,821
資金利益	1,656	1,624	1,604	1,615
業務純益	182	150	179	191
コア業務純益	179	168	180	195
当期純利益	333	367	386	263
単体自己資本比率(%)	14.95	13.66	12.50	11.88